

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 金 允泰

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 金 允泰

【指導者】

感染症科 森 信好、松尾 貴公

公衆衛生大学院 Mihye Lee

癌患者における発熱性好中球減少症に対して
抗菌薬（アモキシシリン・クラブラン酸とシプロフロキサシ
ン併用療法およびモキシフロキサシン単剤療法）の
有効性に関する研究

1.研究の対象

2011年1月～2018年8月に当院のがん患者で発熱性好中球減少症の発症が予想され内服抗生剤を処方された方

2.研究の目的・方法

目的は、癌患者における発熱性好中球減少症に対して、より良い抗菌薬を調べることです。なお方法に関して、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 年齢、性別、病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等